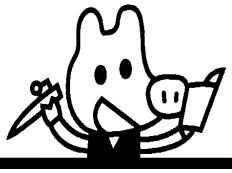
資料番号446



人にくすぐられるとなぜくすぐったいの

●皮ふの下の神経のせい

皮ふのすぐ下には、体の外からのいろいろなしげきに応じるために、いろいろな神経が集まっており、いろいろなものを感じ取っています。これを皮ふ感覚といいます。温かさを感じる温点、冷たさを感じる冷点、痛さを感じる痛点などがあり、これを感点といいます。体の部分によって、きている感点の数やちらばり方はちがいます。

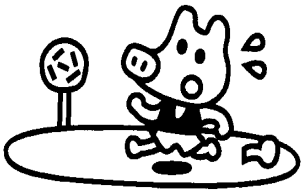
くすぐったいというのは、痛さの変わったものなので、痛点の多い部分に、軽くふれられたりすると、痛いと感じるのではなく、くすぐったく感じるのです。

足の裏や手のひら、わきの下やおなか、内ももなどが、感じやすい部分です。

温点、冷点、痛点などの感点はとなり合っているので、同じようにさわっても、強くさわると痛いと感じ、かるくさわるとくすぐったく感じるなど、一つのしげきでも、いろいろ感じることがあるのです。

●かゆみも同じ神経のまちがい

同じことが、カにさされたときなどの、かゆみについてもいえます。かゆみを感じるのは、痛みを感じる神経のまちがいだという考え方です。それは、かゆみを感じる神経というのはないため、どういうわけか分からないが、さされて痛いはずが、痛みを感じる神経が、かゆいと感じてしまうというものです。（監修・保志　宏）



無断複製：転載：翻訳を禁ず Gakken